



神奈川県畜産会のホームページ

「かながわ畜産ひろば」[\[http://kanagawa.lin.gr.jp/index.htm\]](http://kanagawa.lin.gr.jp/index.htm)

《導入機械名》
ホイローダー
《導入年月日》



「家族経営でも収益を確保する」ことを目的に、機械化などによる省力化や労働力の低減により生じた余力を活用し、生産性を向上するとともに魅力ある産業として後継者の確保や高齢化した酪農家の経営期間の延長・新規就農者の確保などを推進し県内生乳生産量を確保し、収益性の向上等に取り組んでいます。

隔月 1 回（1 日）発行

〔神奈川県畜産情報（平成18年1月号以降）はホームページでもご覧になれます〕

発行所
神奈川県畜産会
横浜市磯子区西町14-3
畜産センター内
電話 045 (761) 4191
FAX 045 (759) 1162
発行人
高 桑 光 雄

二十八年度 畜産クラスター機械導入 事業の導入事例紹介

二十七年年度からスタートした畜産クラスター機械導入事業の導入事例について、今回、県内の協議会から資料提供頂いたので、紹介します。この事業は、機械価格の半額が国から助成されるもので、大変有用な事業ですので、掲載事例を参考にされて、事業参加の検討材料にして頂ければ幸いです

神奈川県酪農収益力向上 推進協議会（県酪連）

《事務局のコメント》
過去十年に酪農家戸数・乳用牛飼養頭数・生乳生産量は約半減しており、その原因として後継者不足・都市化による飼養環境の悪化の他、主な原因として収益の悪化が挙げられます。

これらのことから、本県でも平成二十七年二月に酪農経営の収益力を向上するため、クラスター協議会を設立しました。

「家族経営でも収益を確保する」ことを目的に、機械化などによる省力化や労働力の低減により生じた余力を活用し、生産性を向上するとともに魅力ある産業として後継者の確保や高齢化した酪農家の経営期間の延長・新規就農者の確保などを推進し県内生乳生産量を確保し、収益性の向上等に取り組んでいます。

平成二十八年十一月

《取り組み主体のコメント》

既存の機械より能力の高い当該機械を導入したことにより、作業効率が上がり、堆肥処理にかかる時間の短縮が出来た。その分を飼養管理に充てる事が可能になり、牛群個々の管理が密にできるようになった。空胎期間の短縮等生産性向上に努めた。

かながわ銘柄豚肉推進協議会（県養豚協会）

《導入機械名》 洗浄ロボット

《導入年月日》

平成二十八年九月二十八日

《取り組み主体のコメント》

畜産クラスター事業のリースを活用して洗浄ロボットを導入し満足している。洗浄ロボットは、豚房の洗浄を的確に行ってくれるので、豚舎内の洗浄はロボットに任せ、作業者は、洗浄以外の作業に従事することができ、作業の分業化が図られ効率よく仕事ができるようになった。まるで従業員を一人雇っているようである。機械の操作は簡単で使いやすく、洗浄中の音は気にならない程度である。



洗浄ロボットは、肉豚舎のように豚房面積や通路幅が一定の豚舎の洗浄に適しているが、分娩舎のように複雑な構造の豚舎の洗浄には不向きである。大規模経営でオールアウト後の肉豚舎の洗浄に一番能力を発揮する機械である。強いて言えば、唯一、重量があるため豚舎間の移動に少し手間がかかり、豚舎入口や豚舎内の段差を

越える際に工夫が必要である。

畜産クラスター事業のリースは金銭的メリットが大きく、今後も継続していただくことを望みます。

鶏合戦クラスター協議会 （中央養鶏農協）

《事務局のコメント》

鶏合戦クラスター協議会は、行政を含めあらゆる畜産関係者（行政・農協・畜産農家・畜産関係業者・関係女性）で構成しています。鶏のみで活動しています。

《導入機械名》

今回は、次の機械を導入した事例を紹介いたします。自動給餌機・自動給水機・集卵装置・換気装置・清掃機器を一体化（システムキッ

《導入年月日》
平成二十八年三月に導入。



《取り組み主体のコメント》

導入は、現在の養鶏経営を向上するためには、現状の劣化した機器装置の単なる改修では困難と判断を致しました。導入後の効果は思惑通りで、卵質・鶏の生存性が改善されました。特に臭気の軽減が認識されます。今後このシステム化された装置を構成員に薦め地域の環境の改善にも貢献するものと期待いたします。今後は、年度集計を期待しております。

神奈川県配合飼料・機械化推進 協議会（県配合飼料基金協会）

《導入機械名》ホイローダー
《導入年月日》平成二十八年

十一月

《事務局のコメント》

五年後、一〇年後の経営を見据えて、機械化の推進を図ることは重要です。今後は是非事業を継続して頂きたいと考えております。

《取り組み主体のコメント》



畜産クラスター事業の機械導入リースを活用してホイローダーを導入しました。これまでの機械に比べて、走行速度の向上、バケツ

ト容量の増加により、堆肥の切り返し、運搬等の作業効率が改善されました。作業効率化により作出された時間を、鶏の健康管理や鶏舎管理などに充て、有効活用していきたいと思えます。

死亡牛届出連絡先		所管区域
連絡先（電話番号、FAX）		
県央家畜保健衛生所		横浜市、川崎市、横須賀市、鎌倉市、逗子市、相模原市、三浦市、厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、三浦郡、愛甲郡
湘南家畜保健衛生所		平塚市、小田原市、秦野市、伊勢原市、南足柄市、中郡、足柄上郡、足柄下郡、※ 藤沢市、茅ヶ崎市、高座郡は 県央家保死亡牛保管施設へ搬入

※休日開庁日のみ、死亡牛の届出は携帯電話をお願いします。
休日開庁日の届出は FAX をお願いします。

平成 29 年度 死亡牛届出受付、受入日程

	月	火	水	木	金	土	日
4 月	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
5 月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
6 月				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
7 月	26	27	28	29	30		
						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
8 月	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31						
		1	2	3	4	5	6
9 月	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			
10 月					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
11 月	25	26	27	28	29	30	31
	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
12 月	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				
				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
1 月	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28				
				1	2	3	4
2 月	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28				
3 月				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
4 月	26	27	28	29	30	31	

□ 受入日 □ 開庁日 ※検査月齢は 48 ヶ月齢以上です

花の三月は女性の月

女性閣僚の言葉遣い？は気遣い？

梅が咲き、早咲の桜が綻び、桃の花を飾る春がやってきました。

三月三日は雛祭り、八日は国際女性デー、一四日は二月のバレンタインデーのチョコレートのお返しにキャンデーをもらうホワイトデー、と女性の日が続きます。西洋では六月の花嫁「ジュンブライ

ト」という言葉がありますが、我が日本ではお雛様の「桃の節句」の三月が女性の月でしょうか。

国会では議員の男女の数を均等にする法案が成立する見通しです。各国の下院（日本は衆院）の女性議員の割合は、日本は一九三カ国中一六三位だそうです。この罰則の無い努力規定が、どこまで功を奏するのか、各党の選挙への対応、対策を見定めたい

《導入年月日》

《導入年月日》

《導入年月日》

《導入年月日》

《導入年月日》

《導入年月日》

《導入年月日》

《導入年月日》

《導入年月日》

《導入年月日》

《導入年月日》

《導入年月日》

《導入年月日》

《導入年月日》

《導入年月日》

《導入年月日》

《導入年月日》

《導入年月日》

《導入年月日》

《導入年月日》

《導入年月日》

《導入年月日》

《導入年月日》

《導入年月日》

《導入年月日》

《導入年月日》

《導入年月日》

《導入年月日》

《導入年月日》

《導入年月日》

《導入年月日》

《導入年月日》

《導入年月日》

《導入年月日》

《導入年月日》

《導入年月日》

《導入年月日》

今後も必要に応じて、機械導入事業の活用だけではなく、施設整備についても、しっかりと将来を見据えて検討したいと考えております。

平成二十九年度死亡牛の届出受付、受入日程について

平成二十九年度の家畜保健衛生所における死亡牛（四十八ヶ月齢以上）の届出受付、受入日程を次

のとおり（別表：死亡牛届出受付、受入日程）としましたのでお知らせします。引き続き、死亡牛 BSE 検査の円滑な実施へのご協力をお願いします。

（県畜産課安全管理グループ）

国会議員ばかりでなく、我々農畜産関係でも女性の就農が浮かび上がってきました。男子が圧倒的に多かった農業高校でも女子生徒が上回るようになり、東京の農業高校では男子が多かった農業土木や林業を女子に人気のある、園芸、食品、動物のコースに変えたら女子生徒の方が多くなりました。

新むらすずめ

農水省は二〇一三年から「農業女子プロジェクト」を立ち上げて、女性向けのおしゃれな農作業着や肌を守る紫外線カットの防風ガラ

スター、ピンク色の軽トラ等を発案奨励して、農業女子の就業活躍に期待しています。お雛様のように飾る女性でなく、活動、活躍する女性の時代が到来しているのでは

国会議員ばかりでなく、我々農畜産関係でも女性の就農が浮かび上がってきました。男子が圧倒的に多かった農業高校でも女子生徒が上回るようになり、東京の農業高校では男子が多かった農業土木や林業を女子に人気のある、園芸、食品、動物のコースに変えたら女子生徒の方が多くなりました。

新むらすずめ

農水省は二〇一三年から「農業女子プロジェクト」を立ち上げて、女性向けのおしゃれな農作業着や肌を守る紫外線カットの防風ガラ

スター、ピンク色の軽トラ等を発案奨励して、農業女子の就業活躍に期待しています。お雛様のように飾る女性でなく、活動、活躍する女性の時代が到来しているのでは

我が国の弁護士資格のある防衛大臣は女性。心配りが行き届いていらっしやるとみえて現地の隊員の日報の「戦闘」を「衝突」と読み替えて国会答弁。現地の状況が憲法違反にならないようにと、言葉遣いでお気遣い？くださったようですね。恐れ入ります？？？

農業女子の皆様方には植物に、動物に、そしてご自身の経営に、濃（細）やかに心遣い下さいます様期待しております。（忠九朗）

牛マルキン事業

『平成二十八年年度 十一月及び十二月販売牛の補填金単価報告』

◎平成二十八年年度第3四半期

十一月販売牛補填金単価（精算払）
肉専用種 〇円
交雑種 六、二〇〇円
乳用種 五一、五〇〇円

◎平成二十八年年度第3四半期
十二月販売牛補填金単価（清算払）
肉専用種 〇円
交雑種 〇円
乳用種 六一、一〇〇円
（経営指導部 倉迫）

肉用子牛生産者補給金制度

平成二十八年年度第3四半期（二十八年十一月）の指定肉用子牛の品種区分ごとの平均売却価格は次のとおりでした。

黒毛和種 八四九、二〇〇円
交雑種 四一七、九〇〇円
乳用種 二〇八、六〇〇円
黒毛和種・交雑種・乳用種は保証基準価格、合理化目標価格を共に上回っているので、生産者補給金の交付はありません。

なお、肉用牛繁殖経営支援事業に関しては、「黒毛和種」について、交付はありません。

（一般社団法人神奈川県畜産会）

地方競馬の収益金は畜産振興に役立っています。

川崎競馬開催日

29年4月 3日(月)～4月 7日(金)
5月15日(月)～5月19日(金)
ナイター開催

表1 供試牛の種雄牛		
試験区	対照区	
福栄	福栄	
北湖2	北湖2	
茂勝	茂勝	
菊花国	東龍	
北平安	安茂勝	

表2 脂肪酸カルシウムと米ぬかの脂肪酸組成（重量％）			
	脂肪酸	脂肪酸カルシウム	米ぬか
C14:0	ミリスチン酸	0.7	0.3
C16:0	パルミチン酸	11.0	11.6
C16:1	パルミトレン酸	0.8	0.2
C18:0	ステアリン酸	4.5	1.7
C18:1	オレイン酸	50.0	47.5
C18:2	リノール酸	28.0	37.5
C18:3	リノレン酸	5.0	1.2
一般成分	粗脂肪含量（％）	82.0	19.5

表3 試験期間における増体量と飼料摂取量			
	試験区	対照区	
体重（kg）	試験開始時	678.5 ± 11.0	712.0 ± 15.5
	試験終了時	760.0 ± 14.4	772.0 ± 13.4
1日平均増体量（kg／日）		0.62 ± 0.07	0.50 ± 0.11
濃厚飼料摂取量（kg／日）		11.3 ± 0.6	12.7 ± 0.9
粗飼料摂取量（kg／日）		1.0 ± 0.1	1.1 ± 0.0
推定 TDN 摂取量（kg／日）		5.5 ± 0.3	6.2 ± 0.4

数値は平均値±標準誤差

表4 出荷月齢、枝肉成績および一般成分			
	内訳	試験区	対照区
出荷月齢		30.4 ± 0.1	31.3 ± 0.4
枝肉成績	枝肉重量（kg）	520.2 ± 11.9	496.2 ± 18.6
	ロース芯面積（cm ² ）	66.4 ± 2.2	61.4 ± 0.7
	バラの厚さ（cm）	8.3 ± 0.3	7.9 ± 0.3
	皮下脂肪（cm）	2.9 ± 0.2	2.5 ± 0.4
	歩留基準値	74.4 ± 0.6	74.2 ± 0.2
肉質等級	BMS No.	9.0 ± 0.8	9.0 ± 0.3
一般成分（％）	水分	42.8 ± 2.3	41.7 ± 0.7
	粗脂肪	43.0 ± 2.8	44.9 ± 0.8

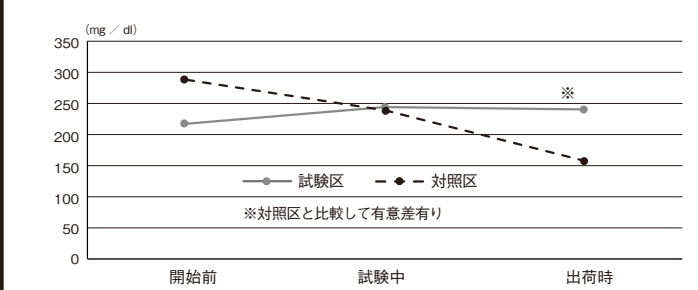


図1 血清中コレステロール値の試験中の推移

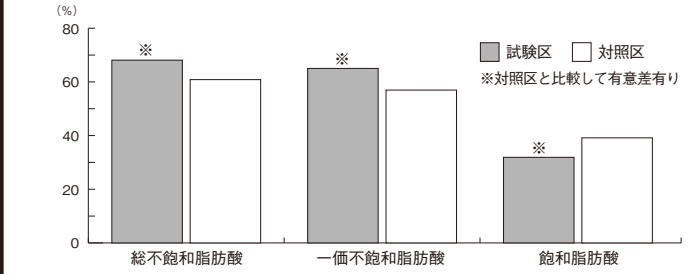


図2 筋肉脂肪の飽和脂肪酸および不飽和脂肪酸組成

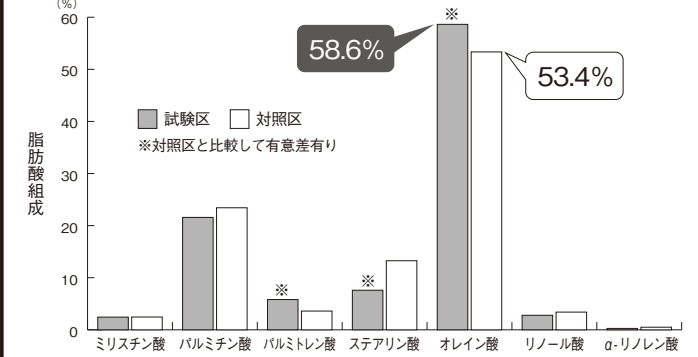


図3 筋肉脂肪の脂肪酸組成

消化管での不飽和脂肪酸の吸収を増やすことが目的の飼料です。開発の目的は、乳脂率や繁殖成績向上のためのもので、リノール酸やリノレン酸の増加を期待したものでした。しかし、最近では様々な種類のものが販売され、肥育牛への給与の報告もあり、乳用去勢牛や、黒毛和種の肉質（BMS N O・）が向上したという報告もありますが、脂肪酸カルシウムは添加量が多いと嗜好性が低下するという報告もあります。

そこで、ここではオレイン酸を多く含む脂肪酸カルシウム（以下「バイパスオレイン酸」）を少量給与することで、嗜好性を低下させずに筋肉脂肪のオレイン酸含有量が上がるかを検討しました。

材料と方法

供試牛は、黒毛和種去勢牛一〇頭を用い、試験区、対照区にそれぞれ五頭用いました。供試牛の血統は表のとおりです。試験期間は出荷前の四ヶ月間とし、二七～二八ヶ月齢で試験を開始しました。

すべての供試牛は、八ヶ月齢から当所の慣行飼料であるトウフ粕を五〇％配合した発酵飼料（以下「濃厚飼料」）を一〇～一七kg／日および粗飼料として稲ワラを一〇～一五kg／日給与しました。なお、ミネラル補給のため塩缶を常置し、二〇ヶ月齢以降はすべての供試牛に対して一日当たり五、〇〇〇IUのビタミンAを給与しました。バイパスオレイン酸（詳しい成分値は表2に記載）は、米ぬか六〇〇グラムと同量のオレイン酸

を含む給与量としました。あらかじめガスクロマトグラフを用いてバイパスオレイン酸と米ぬかの脂肪酸組成を測定し（表2）、給与量を一三五.五g／日としました。供試牛は試験開始（出荷予定四ヶ月前）まで同一の飼料で給与し、試験区は出荷四ヶ月前から濃厚飼料にバイパスオレイン酸を混合して給与し、対照区は給与しませんでした。試験牛は、飼料摂取量、体重、血液検査を試験前、試験中、出荷直前に調査しました。出荷後は、と畜、競り後に、横浜食肉市場株式会社との協力を得て第六～七胸椎間部を薄く削除して分析を行いました。

結果と考察

増体量と飼料摂取量の結果ですが、試験開始時や終了時の体重、平均増体量に差は認められず、濃厚飼料、粗飼料、推定TDN摂取量にも差はなく、嗜好性に問題ないと考えられました（表3）。血液性状は、血清総蛋白（T-PrO）、BUN（尿素窒素）、腎機能が低下すると高値を示す）、AST（アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ、肝機能の指標）、GGT（γグルタミルトランススベプチターゼ、肝機能検査の一つ）に差は認められませんでした。しかし、コレステロール値については、出荷直前で試験区が高くなりました（図1）。つまり、バイパスオレイン酸給与でコレステロール値が増加したと考えられます。

枝肉成績は、両区の間に有意な差はなく水分、粗脂肪含量にも差

はありませんでした（表4）。総不飽和脂肪酸、そのうちの大部分を占める一価不飽和脂肪酸（モノレン酸）については、試験区が有意に高く、逆に飽和脂肪酸は有意に低い結果でした（図2）。脂肪酸組成を図3に示します。オレイン酸が試験区で五八・六％と対照区の五三・四％より高く、同じく不飽和脂肪酸であるパルミトレン酸もあるステアリン酸は低い結果でした。気になる費用についても試算してみました。今回使用したバイパスオレイン酸の単価が、一kgあたり四四六円でしたので、四ヶ月間の給与で四、八七八円、米ぬかは飼料会社に聞き取りしたところ、一kgあたり四六四円でしたので、四ヶ月で三、三二二円となり、差し引き一、五六六円、バイパスオレイン酸の方が高いことがわかります。バイパスオレイン酸のメリットは、第一胃をバイパスするので米ぬかのように第一胃内で飽和化されず効率的です。また、米ぬかはリンを含みますが、こちらは含まないことから、尿石になりにくいと思われることです。さらに米ぬかは脂肪が酸化しやすいと言われており、特に夏場は気温と湿度が高いため、著しく酸化が進み長期保管は困難ですが、バイパスオレイン酸は数ヶ月間常温で保存可能です。

逆に、デメリットは、コストがかなり、量が多いと嗜好性が悪くなるということがあげられます。また、当所のように乳酸発酵させた飼料に混ぜて給与する場合は、酸によって脂肪酸

カルシウムが溶けてしまったため、給与法に注意が必要です。また、不飽和脂肪酸含量が増えるので、脂肪の融点が低くなる可能性があります。これらの点には注意して頂きたいと思っています。

ところで…

今回の試験とは別のお話ですが、当所の普及指導課では、光学的に筋肉脂肪の脂肪酸組成を簡易に計測する機器（食肉脂質計測装置）を用いて多くの枝肉の脂肪酸組成を測定しています。当所では出荷した牛は、サンプルを採取して、実際に脂肪酸組成を分析しますので、サンプルの光学的測定と分析機器を用いた測定を継続的に行っていきます。その結果、光学的測定と分析機器による値に正の相関が認められ、若干光学的測定が高く表示されますが、概ね正しい値を示しました。

まとめ

今回、バイパスオレイン酸を給与したところ、飼料摂取量や発育、枝肉成績は低下せず、筋肉脂肪中の不飽和脂肪酸、オレイン酸割合が有意に高まり、特色ある牛肉の生産に寄与できるのではないかと考えられました。しかし、オレイン酸含量自体は取引価格とは関連がありませんので、コストに見合った売り上げがあるとは限りませんが、コストも考えながら給与をご検討下さい。

（畜産技術センター企画研究課 坂上 信忠

カルシウムが溶けてしまったため、給与法に注意が必要です。また、不飽和脂肪酸含量が増えるので、脂肪の融点が低くなる可能性があります。これらの点には注意して頂きたいと思っています。

ところで…

今回の試験とは別のお話ですが、当所の普及指導課では、光学的に筋肉脂肪の脂肪酸組成を簡易に計測する機器（食肉脂質計測装置）を用いて多くの枝肉の脂肪酸組成を測定しています。当所では出荷した牛は、サンプルを採取して、実際に脂肪酸組成を分析しますので、サンプルの光学的測定と分析機器を用いた測定を継続的に行っていきます。その結果、光学的測定と分析機器による値に正の相関が認められ、若干光学的測定が高く表示されますが、概ね正しい値を示しました。

まとめ

今回、バイパスオレイン酸を給与したところ、飼料摂取量や発育、枝肉成績は低下せず、筋肉脂肪中の不飽和脂肪酸、オレイン酸割合が有意に高まり、特色ある牛肉の生産に寄与できるのではないかと考えられました。しかし、オレイン酸含量自体は取引価格とは関連がありませんので、コストに見合った売り上げがあるとは限りませんが、コストも考えながら給与をご検討下さい。

（畜産技術センター企画研究課 坂上 信忠

カルシウムが溶けてしまったため、給与法に注意が必要です。また、不飽和脂肪酸含量が増えるので、脂肪の融点が低くなる可能性があります。これらの点には注意して頂きたいと思っています。

ところで…

今回の試験とは別のお話ですが、当所の普及指導課では、光学的に筋肉脂肪の脂肪酸組成を簡易に計測する機器（食肉脂質計測装置）を用いて多くの枝肉の脂肪酸組成を測定しています。当所では出荷した牛は、サンプルを採取して、実際に脂肪酸組成を分析しますので、サンプルの光学的測定と分析機器を用いた測定を継続的に行っていきます。その結果、光学的測定と分析機器による値に正の相関が認められ、若干光学的測定が高く表示されますが、概ね正しい値を示しました。

まとめ

今回、バイパスオレイン酸を給与したところ、飼料摂取量や発育、枝肉成績は低下せず、筋肉脂肪中の不飽和脂肪酸、オレイン酸割合が有意に高まり、特色ある牛肉の生産に寄与できるのではないかと考えられました。しかし、オレイン酸含量自体は取引価格とは関連がありませんので、コストに見合った売り上げがあるとは限りませんが、コストも考えながら給与をご検討下さい。

（畜産技術センター企画研究課 坂上 信忠

カルシウムが溶けてしまったため、給与法に注意が必要です。また、不飽和脂肪酸含量が増えるので、脂肪の融点が低くなる可能性があります。これらの点には注意して頂きたいと思っています。

ところで…

今回の試験とは別のお話ですが、当所の普及指導課では、光学的に筋肉脂肪の脂肪酸組成を簡易に計測する機器（食肉脂質計測装置）を用いて多くの枝肉の脂肪酸組成を測定しています。当所では出荷した牛は、サンプルを採取して、実際に脂肪酸組成を分析しますので、サンプルの光学的測定と分析機器を用いた測定を継続的に行っていきます。その結果、光学的測定と分析機器による値に正の相関が認められ、若干光学的測定が高く表示されますが、概ね正しい値を示しました。

まとめ

今回、バイパスオレイン酸を給与したところ、飼料摂取量や発育、枝肉成績は低下せず、筋肉脂肪中の不飽和脂肪酸、オレイン酸割合が有意に高まり、特色ある牛肉の生産に寄与できるのではないかと考えられました。しかし、オレイン酸含量自体は取引価格とは関連がありませんので、コストに見合った売り上げがあるとは限りませんが、コストも考えながら給与をご検討下さい。

（畜産技術センター企画研究課 坂上 信忠

家保だより

牛のアカバネ病を予防しましょう

春の訪れが間近に感じられる頃となりました。この時期から、牛飼養農家の皆さんに注意していたきたい伝染病にアカバネ病があります。

アカバネ病は牛のウイルス性伝染病で、蚊やヌカカなどの吸血昆虫が媒介し、妊娠牛が感染すると胎子感染により異常産（死産産・四肢の関節湾曲・脊柱彎曲等の体形異常及び水無脳症等の中枢神経異常等の奇形）を起こす病気です。

また、近年では、子牛や育成牛で生後感染による知覚過敏、後軀麻痺、起立不能などの神経症状を示す脳脊髄炎も問題になっていきます。

蚊やヌカカが発生する夏から秋にかけて感染すると、死産産は夏から秋に、奇形子牛の分娩は冬から翌年春にかけて起こります。

本病については毎年、全国的に育成牛を対象に定期的なサーベイランス調査を実施しています。本県でも年四回、育成牛の追跡調査を行いウイルスの侵入を監視していますが、県内では、平成十四年度以降、ウイルスの侵入は確認されていません。

アカバネ病は西日本、特に九州で被害をもたらしてきました。しかし、年によっては、北海道、東北、甲信越地方などでも発生が確認され、全国的に問題になってきています。

予防法は、ワクチン接種が効果的です。妊娠牛や受精予定牛を対象にアカバネ病ワクチンを蚊やヌカカなどの活動が活発になる夏前（四～六月）に毎年接種することで、異常産の発生を防ぐことができます。

また、地域全体でワクチンを接種し抗体保有率を高めることにより、生後感染の流行のリスクも下がると考えられています。

ぜひワクチン接種でアカバネ病を予防しましょう。

（県家畜保健衛生所 矢島）